

漁海況情報

第477号 (平成24年3月14日)

TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379
 ホームページ: //www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/

水産試験場「最上丸」と水産課「月峯」は2月29日と3月1日に沿岸の水温観測を実施しました。

表層～150m層と300m層は「平年並み」、200m層は「平年よりやや高め」でした。

沿岸25海里定点各層別の平均水温

単位:°C

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	9.0	9.2	9.3	9.1	7.7	2.0
前年差	-0.2	-0.1	+0.6	+1.9	+2.9	+0.5
平年差	+0.1	-0.2	+0.1	-0.1	+1.3	+0.2
評価	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや高い	平年並み
(前月評価)	(平年並み)	(平年並み)	(平年並み)	(平年並み)	(かなり高い)	(平年並み)

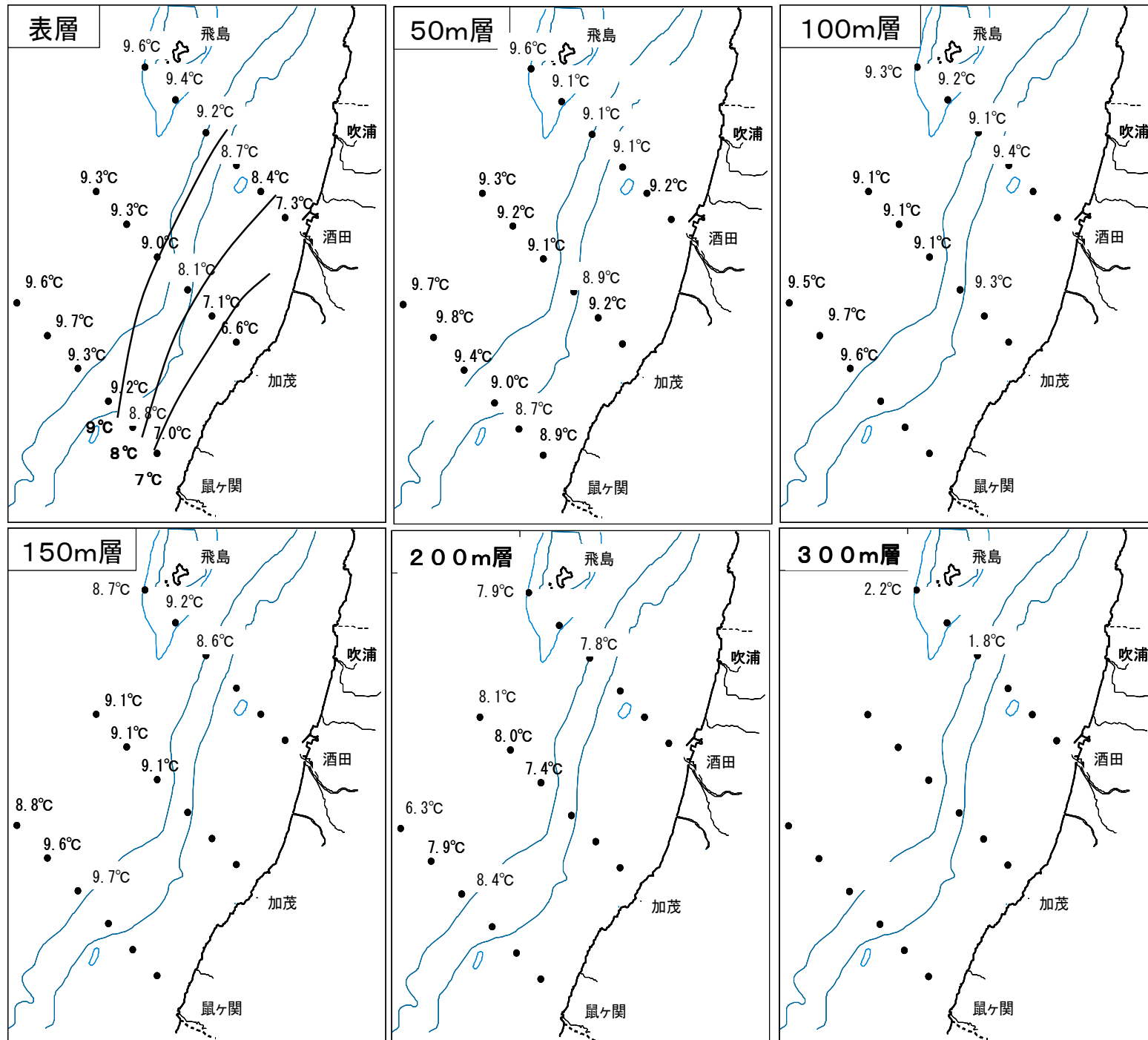
評価の表現: "平年並み"は約2年に1回, "やや"は約4年に1回, "かなり"は約10年に1回, "はなはだ"は約20年以上に1回の出現確率を表しています。

地先平均水温(2月)

単位:°C

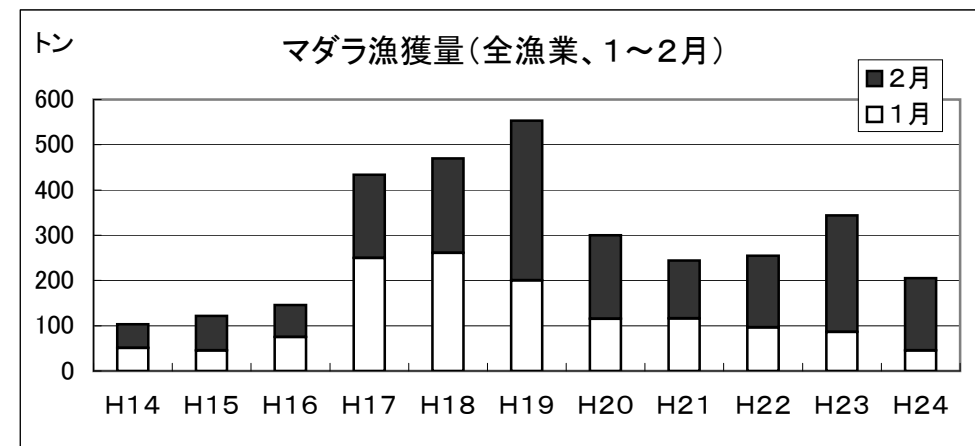
場所	水温	前年差	平年差	評価
水産試験場(鶴岡市加茂港内)	6.5	-1.7	-1.1	やや低い
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	7.9	-0.9	-1.0	やや低い

・地先水温: 水産試験場、栽培漁業センターとも「やや低め」の水温になっています。



寒ダラ漁のまとめ

- 水産試験場では昨年の12月に、平成24年1～2月の寒ダラについて、「平年(222トン)をやや上回り、魚体は5kg以上(6才が主体)の大型魚が中心となる」と予報しました。
- 漁獲量の実績は205トン(=1月45トン、2月160トン)で、前年比60%、過去30年比92%となりました。地区別に1隻1日当たりの漁獲量を見ると、県北(吹浦・酒田)が多かったものの、県央(由良・豊浦)と県南(鼠ヶ関)は少なく、地域間格差が大きくなりました。
 要因として、①時化により最盛期である1月下旬の出漁日数が減少したこと、②2月上旬のたら場の水温観測で飛島の本土側がその他の地点よりも2～3°C低かったため、飛島周辺に魚群が集中したこと、が考えられます。
 なお、聞き取り調査では、「新潟県は下越地区で1月は前年に比べて半減した。秋田県は例年より漁期が遅れたことに加えて漁獲量が少ない。」とのことでした。
- 漁獲サイズは5kg以上の大型魚の比率が高く、卓越年級と考えられる平成18年生まれ(2006年生まれ)が6才になって漁獲されたものと考えられます。



2月の漁況

- ・延べ操業隻数は1,092隻で、時化の影響で前年比53%、平年比61%でした。
- ・総漁獲量は、363トンで、延べ操業隻数が大きく減少したために前年比684%、平年比78%でした。
- ・底びき網漁業の漁獲量は311トンで前年比68%、平年比82%でした。この時期主対象となるマダラは148トンで前年比62%、平年比73%でした。その他の魚種では、タイ類、ヒラメ、カレイ類、スケトウダラ、アンコウ、タコ類等多くの魚種で平年を下回りました。
- ・はえなわ漁業の漁獲量は8トンで平年比51%でした。マダラは平年を上回りましたが、タイ類、メバル類、アブラツノザメ、タコ類は平年を下回りました。
- ・その他の漁業では、張網漁業のマダラ、ヤリイカが平年を上回りましたが、さし網漁業のマガレイ、たらさし網漁業のマダラ、やりいか釣漁業のヤリイカ、採貝藻漁業のアワビ、サザエ、ナマコ、かご漁業のタコ類が平年を下回りました。

* 平年比は平成19～23年までの平均値と比較した値です。

全漁業支所別漁獲量

単位：隻、kg

支所	吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	平年比
延べ操業隻数	49	290	95	45	164	100	63	286	1,092	53%	61%
総漁獲量	55,218	14,995	86,668	13,930	51,468	20,448	1,539	118,498	362,763	64%	78%
前年比	92%	71%	83%	32%	52%	54%	60%	60%	64%		
平年比	145%	56%	132%	54%	64%	60%	65%	66%	78%		

底びき網漁業

単位：隻、kg

支所	吹浦	酒田	加茂	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	平年比
延べ操業隻数	24	49	5	76	33	167	354	71%	82%
タイ類		241		82	66	553	942	19%	26%
ヒラメ	34	51	114	289	184	733	1,405	30%	49%
カレイ類	355	747	244	1,407	742	2,459	5,954	57%	79%
ハタハタ	2,318	4,137		21,237	10,298	50,229	88,219	83%	104%
スケトウダラ	4,103	3,957		524	163	837	9,584	48%	43%
アンコウ	159	317	571	1,252	687	3,472	6,458	54%	76%
マダラ	37,589	66,715		15,068	4,992	23,433	147,797	62%	73%
アカエビ	200	312		1,029	153	10,449	12,143	67%	88%
タコ類	194	355		432	95	739	1,815	46%	50%
その他	884	5,018	75	6,305	1,720	22,793	36,795		
計	45,836	81,850	1,004	47,625	19,100	115,697	311,112	68%	82%
前年比	89%	90%	48%	51%	60%	61%	68%		
平年比	137%	125%	49%	61%	64%	66%	82%		

はえなわ漁業

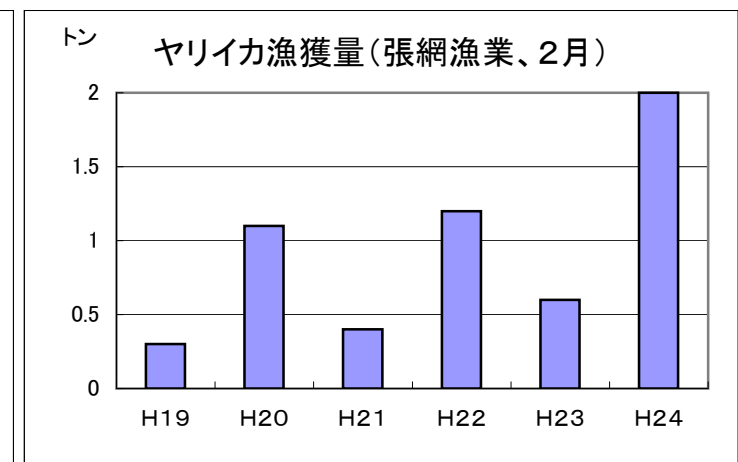
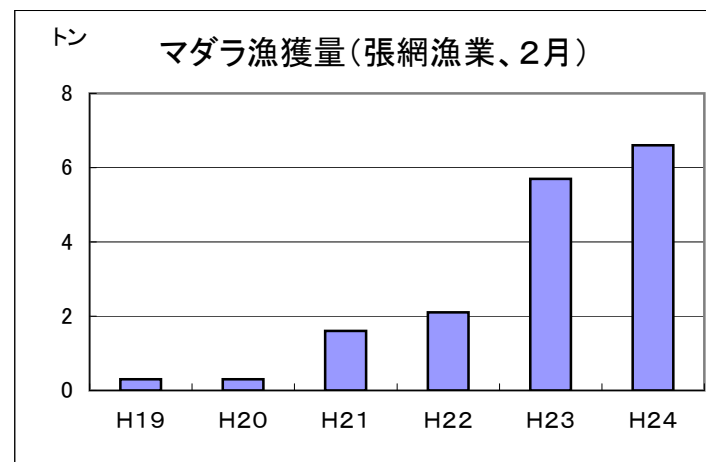
単位：隻、kg

支所	吹浦	酒田	加茂・由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	平年比
延べ操業隻数	1	10	34	22	34	56	157	52%	61%
タイ類			11	2	531	1,064	1,608	105%	58%
メバル類			3		46	148	197	42%	63%
マダラ		952	46				998	27%	126%
アブラツノザメ		2,552	15				2,567	55%	81%
タコ類		19	1,087	344	9		1,459	16%	19%
その他	4	219	114	71	478	723	1,609		
計	4	3,742	1,276	417	1,064	1,935	8,438	40%	51%
前年比	5%	44%	22%	10%	106%	111%	40%		
平年比	25%	96%	23%	14%	62%	87%	51%		

その他の漁業

単位：隻、kg

漁業種類	さし網漁業	たらさし網漁業	やりいか釣漁業	採貝藻漁業			かご漁業	張網漁業	
延べ操業隻数	107	6	15	204			113	17	
対象魚種	マガレイ	マダラ	ヤリイカ	アワビ	サザエ	ナマコ	タコ類	マダラ	ヤリイカ
漁獲量	1,308	1,354	157	1,026	790	640	4,111	6,646	1,965
前年比	19%	13%	7%	57%	32%	37%	118%	116%	335%
平年比	33%	11%	13%	73%	58%	48%	79%	333%	282%



最上丸の調査予定(3月中旬～4月上旬)

底びき網調査、海洋観測

- ・底びき網調査(アラ場、ハタハタ加入量)を行います。
- ・海洋観測を行います。